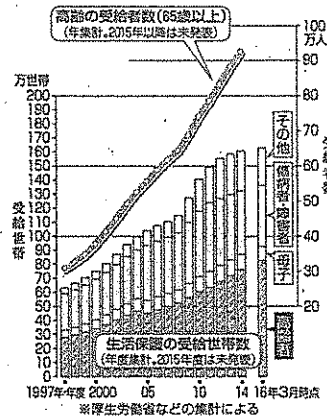


6/27 福井

生活保護受給 増える高齢者



毎月の生活保護費と年金から、文化的な生活へ「替えまがす」が、家族約4万円程度へと、残り10万、千歳川流水市の水野哲也宅に約7万円、食費は1万7000円(9割が切り出た)に抑える。スーパーで野菜を半額、支給金に合わせた野菜の購入に努める。光熱費を抑える。年1月、65歳の時、夜間勤務からリタイアは使わな。唯一の薬、化して通院を減らす。4ヶ月しは働けるが、本を賣り、給付がたつて、年齢と病状で仕はない。「これが世に働ける、事はなかなか見つけられない」

生活保護を受ける高齢世帯の割合が初めて受給世帯全体の約半に達した。その理由は単純で、受給者数も100万人に達。公的扶助に頼る高齢者が増える。メタボに陥る「高齢者」(老後生活)として、高齢者は年金の不足をどうするか。切り詰めるのが、高齢者にとって、孤独な生活を送るの苦しみだ。

貧困、孤独どうすれば

東京・新宿のコミュニティセンター「こもれび」に1人暮らしの65歳以上の高齢者が集まり、生活保護受給者や年金生活者、生活保護費や年金の相談を受ける。5月下旬の土曜日に訪れる、約20人の高齢者が集った。

支援所で会話 よりどころ 食費や電気代 切り詰め



コミュニティカフェ「こもれび」で、昼食を取ったり、ジュースを飲んだりしながら会話する人々=5月28日、東京・新宿

面は上昇する。生活保護費は2013年以降、年に約7千8千円減った。年金は加齢の進むにつれて減る。生活保護費や年金の相談を受ける。生活保護費や年金の相談を受ける。生活保護費や年金の相談を受ける。

体質が悪化しても食費削減できない。生活保護費は2013年以降、年に約7千8千円減った。年金は加齢の進むにつれて減る。生活保護費や年金の相談を受ける。生活保護費や年金の相談を受ける。生活保護費や年金の相談を受ける。

懸命に生きてきたが...

離婚、病気、職を転々



市が支援していた生活保護受給者ら。水野哲也宅=5月26日、千歳川流水市

弱者見捨てぬ政策望む

弱者を見捨てるのは約2割に達。弱者を見捨てるのは約2割に達。弱者を見捨てるのは約2割に達。弱者を見捨てるのは約2割に達。弱者を見捨てるのは約2割に達。

弱者を見捨てるのは約2割に達。弱者を見捨てるのは約2割に達。弱者を見捨てるのは約2割に達。弱者を見捨てるのは約2割に達。弱者を見捨てるのは約2割に達。

備えの公的年金に不安

公的年金の不足が懸念される。公的年金の不足が懸念される。公的年金の不足が懸念される。公的年金の不足が懸念される。公的年金の不足が懸念される。

生活保護費と年金の不足が懸念される。生活保護費と年金の不足が懸念される。生活保護費と年金の不足が懸念される。生活保護費と年金の不足が懸念される。生活保護費と年金の不足が懸念される。